

令和 7（2025）年 7 月 30 日

令和 6（2024）年度介護・福祉若手職員交流会について

1 開催目的

事業所の垣根を超えた交流により、職員のモチベーションを高める。また、悩みを共有し、解決策を考え、互いを尊重して支え合う仲間づくりを推進する。

2 事業概要

- (1) 開催日時 第 1 回交流会：令和 6（2024）年 10 月 4 日（金）
午後 2 時から 4 時まで
第 2 回交流会：令和 6（2024）年 12 月 6 日（金）
午後 2 時から 4 時まで
- (2) 対象者 市内介護・障害福祉事業所に勤務する若手職員 20 名程度
（おおむね勤続 3 年未満・40 歳未満）
- (3) 会場 柏崎市民活動センターまちから
1 階交流・活動ルーム 1
- (4) 運営 柏崎市福祉保健部介護高齢課、福祉課
柏崎地区福祉施設協議会

3 実施内容

- (1) 第 1 回交流会「KAIGO&FUKUSHI CAFÉ vol. 1」
グループワーク・・・すごろくによる交流
座談会・・・グループごとにテーマを選択して話し合う
- (2) 第 2 回交流会「KAIGO&FUKUSHI CAFÉ vol. 2」
グループワーク①・・・ペーパータワーによる交流
グループワーク②・・・困りごとや悩みを共有し、解決方法を考える
座談会・・・グループごとに情報交換や相談など自由に会話を楽しむ

4 参加者数

(1) 第 1 回交流会

19 名（10 代 1 名、20 代 10 名、30 代 1 名、不明 2 名、先輩職員 5 名）

	事業所数	男性	女性	合計
介護	11 事業所	3 名	4 名	7 名
障がい福祉	7 事業所	6 名	1 名	7 名

(2) 第 2 回交流会

19 名（10 代 1 名、20 代 11 名、30 代 3 名、不明 1 名、先輩職員 5 名）

	事業所数	男性	女性	合計
介護	10 事業所	7 名	4 名	11 名
障がい福祉	5 事業所	7 名	1 名	8 名

5 当日の様子

第1回



第2回



6 アンケート結果（一部抜粋）

- (1) 「仕事上の困りごとや悩みの解決策を考える」というテーマでグループワークをやってみた感想を教えてください。

（第2回交流会）

- ・他の現場で働いている方の悩みなども多く聞くことができて、これから活かしていけるような話し合いができてよかった。
- ・他の施設のことが知れてよかった。職場が違々と仕事の進め方も違うので、新鮮だった。
- ・みんな自分と同じような悩みがあるんだなということと、ならばなおさら解決させる方向に動ける職業にならないといけないなと思った。

- (2) 介護・福祉の魅力発信に向けたアイデアがあれば教えてください。

（第2回交流会）

- ・高校に行って講演をすることやSNSを活用することなどが良いと思います。
- ・様々なSNSを利用し、こまめに発信する。
- ・他業種との比較（待遇、休み、手当、幸福度など）で、悪い業界ではないと宣伝してほしい。

- (3) 介護・福祉の分野において、柏崎市に求めたいことがあれば教えてください。

（第2回交流会）

- ・支援金やストレスを発散、交流のできる機会
- ・人材不足の原因として、柏崎の人口が減っていることも原因の一つだと思うので、対策すべき
- ・もっと介護の良さ、楽しさをSNSを通じて発信してほしいです。
- ・環境改善や働きやすくするための物品の購入に対する支援金

- (4) 感想やご意見

（第1回交流会）

- ・年の近い皆さんと、普段の仕事等について話して共有することができたので、楽しい交流会になりました。
- ・毎年、定期的に開催していただけると嬉しいです。他施設の方と関われることは、貴重な時間でした。
- ・若い世代の人たちと話す機会がなくて、新鮮だった。同じような悩みを持っていることが分かり、共有・対処法等について話せてよかったと思う。

（第2回交流会）

- ・介護、障がいチーム分けをしたことで、その分野で話すことができてよかった。
- ・なかなかこのような機会ではか会うことのできない方と悩みを相談し合う場があり、とてもいい時間でした。

7 課題と今後の展望

若手職員同士の交流会を開催したことで、事業所の垣根を超えた仲間づくりのきっかけを提供することができました。今後も継続して開催し、若手職員が切磋琢磨し合える環境づくりを目指します。

令和 7（2025）年 7 月 30 日

令和 6（2024）年度介護・福祉施設経営セミナーについて

1 開催目的

介護や福祉サービスの担い手不足の問題、複雑化・多様化するニーズへの対応など、介護・福祉を取り巻く環境や社会情勢の変化に対し、中長期的な視点に立った戦略的な施設運営が求められている。日々の運営を担う施設長を対象にセミナーを開催することで、マネジメント力を高め、自らの施設の方向性を主体的に描けるよう、経営意識の醸成と意識改革を促す機会とする。

2 事業概要

- (1) 開催日時 令和 7（2025）年 1 月 31 日（金）14：30～17：15
- (2) 対象者 市内介護・福祉サービス事業所の施設長または管理職級職員
- (3) 会場 柏崎市文化会館アルフォーレ
- (4) 運営 柏崎市福祉保健部福祉課、介護高齢課

3 実施内容

- (1) 講義 「今後 10 年先を見据えた施設の在り方～今すべきこと～（施設長編①）」
講師 ポスト・ヒューマン・ジャパン株式会社 代表取締役 谷本 正徳 氏
- (2) グループワーク・ふりかえり
- (3) 質疑応答

4 参加者数

31 事業所 39 名（介護 12 事業所 15 名、福祉 19 事業所 24 名）

5 アンケート結果（取りまとめ概要）

多くの参加者が、「いい施設長がいい施設をつくる」「生き様を見せる」という講師のメッセージに強く共感し、自らのあり方や日々の姿勢を見つめ直す契機となった。単に業務をこなすのではなく、施設長自身が誠実さと倫理観を持って行動することが、組織全体に波及するという考えに感銘を受けた声が多かった。

また、高い意欲と経営に対する危機感、そして「学んだことをどう実務に活かすか」という具体的な課題意識が伺え、本セミナー単発ではなく、継続的・段階的なセミナーの開催により、経営力と組織力の底上げを求める声を多くいただいた。

6 課題と今後の展望

参加者にとって「経営者としての軸の再確認」と「施設長としての成長」の両面から、大きな気づきと学びを提供する内容となった。特に、「自らが変わらなければ施設も変わらない」というメッセージが多く参加者の心に響いており、今後の施設運営に向けての意識変革のきつ

かけとなったことが伺えた。

本セミナーを気づき、きっかけづくりの機会と捉え、引き続き施設長を対象とした経営セミナーを実施し、中長期的な視点に立ち、将来を見据えた施設運営が図られるよう支援に努め、行政と介護・福祉サービス事業者が共通の認識を持ち、サービスの継続・存続に向けて連携して取り組むための基盤づくりとして取り組んでいきたい。

7 当日の様子

